

変わりゆく 大学生の生活と モバイル ポータル役割

日時

2012

2.11

土・祝

会場

金沢大学サテライトプラザ3階

金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内

tel 076-232-5343

参加
無料



プログラム

- 13:30 受付開始
- 14:00 開会の挨拶 櫻見 由美子(金沢大学副学長 教育担当理事)
- 14:05 趣旨説明 山田 政寛
(金沢大学 大学教育開発・支援センター 准教授
FD・ICT教育推進室実務委員会委員長)
- 14:10 講演『入退出履歴を用いたうつ病による
行動変化検知の可能性について』
不破 泰 氏(信州大学 総合情報センター長 教授)
- 15:00 講演『スマートフォンを用いた学習・学生支援
～青山学院大学のケースについて～』
伊藤 一成 氏(青山学院大学 社会情報学部 准教授)
- 15:50 『アカサスポータルの利用からみる学生生活とその役割
～災害・緊急時の学生支援～』
森 祥寛 (金沢大学 総合メディア基盤センター 助教)
- 16:30 パネルディスカッション
- 17:25 閉会の挨拶 中島 健二
(金沢大学 学長補佐 経済学類 教授
FD・ICT教育推進室長)
- 17:30 終了



金沢大学創基150年記念「講演会・シンポジウム」シリーズ 第50回
金沢大学FD・ICT教育推進室 シンポジウム

「変わりゆく大学生の生活とモバイル、ポータル役割」

～学生支援のための情報技術を考える～

近年、学生の生活が多様化し、それとともに学生の精神的もろさも目立つようになってきました。そのため、大学の学生支援業務が教育から日常生活にまで広がり、それが多くの高等教育機関において対応重視項目となりつつあります。

その一方で、わたしたちの日常生活においては、情報技術の発展により、コミュニケーションがユビキタス的特性を持ち、いつでもどこでも気軽にコミュニケーションできるようになってきました。さらに、近年になってTwitterのようなソーシャルメディアの利用がますます普及し、**「必要な時に即時に情報が得られる」**環境となってきました。

ところで、先の東日本大震災では、携帯電話回線のいち早い復旧とソーシャルメディアの相乗効果により、世界に被害状況や支援情報が迅速に伝えられました。本学でも、学生の安否確認にこれらのツールが活躍し、それらが緊急事態における学生支援に対しても有効であることを再認識しました。もちろん、これにはスマートフォンといったモバイルとの相乗効果があったことは言うまでもありません。

このように、学生生活が多様化していく流れの中で、日常的な学生支援、さらに突如として起こりうる緊急事態における学生支援において、ポータルシステムは今後ますます重要な役割を果たしていくものと思われます。それはモビリティが高いデバイスやツール類と掛け合わせることで、情報を一元管理できるポータルの役割、効果をより強くするものとなります。

本セミナーでは、多様化する学生生活の中で、モバイル備品・機器とポータルシステムの接点という切り口から、教育・学習・生活に対して、どういった支援が可能であるのかについて議論を行います。

主催：金沢大学 FD・ICT教育推進室

(金沢市角間町 金沢大学総合教育棟1号館511号室)

日時：2012年2月11日(土曜日) 14時00分～17時30分

場所：金沢大学サテライトプラザ3階

(金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内 TEL 076-232-5343)